

一般演題プログラム

1月10日(土) 15時30分～16時30分 優秀演題セッション①

第2会場(419教室)

座長: 鈴木 里砂 (早稲田大学)

廣滋 恵一 (九州栄養福祉大学)

Y-1-1	熟練理学療法士と療法士学生の歩行介助動作スキルの特徴 ー脳卒中者歩行介助中の環境変化への適応行動ー 千葉県立保健医療大学 リハビリテーション学科 理学療法専攻 東京都立大学 人間健康科学研究科 ヘルスプロモーションサイエンス学域	坂崎 純太郎
Y-1-2	学会大会参加が学生の研究活動への関心に与える影響 ーサテライト会場を活用した試みを通じた検討ー YMCA米子医療福祉専門学校 理学療法士科 一般社団法人 鳥取県理学療法士会	大森 隆生
Y-1-3	理学療法臨床実習における指導体制の刷新が学生および 指導者の自己効力感に与える影響 鹿児島第一医療リハビリ専門学校 理学療法学科	臼元 勇次郎
Y-1-4	理学療法士教育における臨床実習前の共通臨床技能試験の開発 藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科	鈴木 由佳理
Y-1-5	短期海外研修への関わり方の違いが異文化感受性に与える影響 高崎健康福祉大学 保健医療学部 理学療法学科	高橋 裕子

1月10日(土) 16時40分～17時40分 優秀演題セッション②

第2会場(419教室)

座長: 吉井 智晴 (東京医療学院大学)

滝本 幸治 (奈良学園大学)

Y-2-1	理学療法専攻学生の志望動機に関する調査 ー自由記述式アンケートによる共起ネットワーク分析ー 平成医療短期大学 リハビリテーション学科 理学療法専攻	亀山 咲子
Y-2-2	テキストマイニングによる理学療法学生の動作分析スキルの評価 ー学年の違いに着目してー 杏林大学 保健学部 理学療法学科	宮川 奈々華
Y-2-3	臨床実習指導者を支援する「サブCE制度」の有用性と課題の検討 ー理学療法教育における多層的指導体制の構築に向けてー 熊本機能病院 総合リハビリテーション部 理学療法課	高宮 安由
Y-2-4	理学療法士養成大学の初年次学生における学習方略に着目した授業が学習動機づけに 与える影響 大阪保健医療大学 保健医療学部	文本 聖現
Y-2-5	大規模法人における理学療法士の技能標準化を目的とした体系的バランス勉強会の 実践報告 平成医療福祉グループ リハビリテーション部 平成横浜病院 リハビリテーション部	神長 光星

一般演題プログラム

1月10日(土) 14時00分～15時00分 口述①学校教育1

第2会場(419教室)

座長: 江口 勝彦(日本保健医療大学)
高島 恵(上尾中央医療専門学校)

- | | | |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| O-1-1 | 理学療法学専攻大学生における自己調整学習方略の
学年間変化と学業成績との関連
令和健康科学大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 | 野中 嘉代子 |
| O-1-2 | 理学療法新入生が有する学習観の4大学比較による
学習観分類の一般化可能性
千葉大学大学院 看護学研究院附属専門職連携教育研究センター | 下井 俊典 |
| O-1-3 | 専門職連携教育におけるオンライン国際協働学習(COIL)の
講義後アンケートからの学生満足度に影響する要因について
鹿児島大学 医学部 保健学科 理学療法学専攻 | 松田 史代 |
| O-1-4 | 本音から始まる主体的な学び
—AIチャットボットが醸成する心理的安全性—
城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科 | 桑江 豊 |
| O-1-5 | リハビリテーション専門職教育における合理的配慮が求められる学生への
学習支援の検討 ～養成校教員による対応の現状について～
首都医校 教務部 理学療法学科 | 柏木 学 |

1月11日(日) 9時30分～10時30分 口述②学校教育2

第1会場(416教室)

座長: 酒井 吉仁(富山医療福祉専門学校)
中川 仁(星城大学リハビリテーション学院)

- | | | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| O-2-1 | 学生を対象とした足関節可動域測定の日内変動および日差変動の検討
愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科 | 松村 仁実 |
| O-2-2 | 非認知能力指標としての実習後発表評価の可能性
太田医療技術専門学校 理学療法学科 | 大谷 知浩 |
| O-2-3 | 理学療法学生の在学中のSelf-Directed Learning Readinessの縦断的变化
—入学時SDLRの程度を層別化しての比較—
群馬大学大学院 保健学研究科 リハビリテーション学講座 | 朝倉 智之 |
| O-2-4 | 4年生と2年生の合同授業における臨床実習指導シミュレーション演習の効果
茨城県立医療大学 理学療法学科 | 篠崎 真枝 |
| O-2-5 | 報連相力の意外な側面-非認知能力が学業成績に与える影響-
新潟リハビリテーション大学大学院 運動機能科学コース | 北村 拓也 |

一般演題プログラム

1月11日(日) 9時30分～10時30分 口述③学校教育

第2会場(419教室)

座長：中村 壮大(社会医学技術学院)

西井 琢馬(多摩リハビリテーション学院専門学校)

- | | | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| O-3-1 | 生成AIを活用した理学療法士国家試験対策支援ツールの実践導入と有用性の検討
平成医療短期大学 リハビリテーション学科 理学療法専攻 | 澤村 彰吾 |
| O-3-2 | OSCE課題疾患の実習経験の有無は得点に影響を及ぼすか
茨城県立医療大学 保健医療学部 理学療法学科 | 上岡 裕美子 |
| O-3-3 | 見学実習が理学療法士としての就職や学習のモチベーションに与える影響の調査
函館市医師会看護・リハビリテーション学院 理学療法学科 | 工藤 達也 |
| O-3-4 | Covid-19による理学療法教育の制限が新卒理学療法士に与えた影響-第2報-
～Covid-19下の学修制約に関する自由記述の年次比較と教育的考察～
上尾中央医療専門学校 理学療法学科 | 新井 大志 |
| O-3-5 | 本学の理学療法課程における卒前教育の成績と卒後臨床能力に対する
自己評価の関係性 第2報
藤田医科大学大学院 保健学研究科 | 近藤 達也 |

1月11日(日) 10時40分～11時40分 口述④卒後教育1

第1会場(416教室)

座長：平林 弦大(看護リハビリ新潟保健医療専門学校)

山下 淳一(中伊豆温泉病院)

- | | | |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| O-4-1 | リハビリテーション専門職の若手教育に対する認識の探究：
オープンコーディングによる質的分析
奈良学園大学 保健医療学部 | 三上 亮 |
| O-4-2 | 理学療法教育におけるLLB指導の実態と改善点
ー現場の声からみる教育設計のヒントー
緑成会病院 リハビリテーション部 | 橋本 大佑 |
| O-4-3 | 退院後の生活に関する情報連携と振り返り支援の有効性
～退院後3か月サマリーの活用による実践的検討～
社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院 リハ技術部 教育研修科 | 飯塚 崇仁 |
| O-4-4 | Off-JT・SDS・症例発表会を連携させた新人教育の実践と成果
ー学会発表への移行プロセスに着目してー
東京都済生会中央病院 リハビリテーション技術科 | 三木 啓嗣 |
| O-4-5 | 生成AIを用いた新人セラピスト教育支援の効果検証
日高リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター | 海津 陽一 |

一般演題プログラム

1月11日(日) 10時40分～11時40分 口述⑤卒後教育2

第2会場(419教室)

座長: 佐藤 公博(北海道千歳リハビリテーション大学)
神戸 晃男(東京国際大学)

0-5-1	卒前の教育環境と卒後の職場環境が理学療法士の学習状況に与える影響(第2報) 北海道大学病院 リハビリテーション部 北海道医療大学 リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻	横谷 将平
0-5-2	実践共同体(community of practice)に着目した理学療法士の学習と臨床能力の関連分析 兵庫県立こども病院 リハビリテーション部	福田 哲也
0-5-3	理学療法士におけるメンタリング行動指標の開発(第2報) 大浜第一病院 リハビリテーション科	石野 麻衣子
0-5-4	新人指導を担う実地指導者のストレスの実態調査 上板橋病院 リハビリテーション部 国際医療福祉大学大学院 医療福祉教育・管理分野	尾崎 麻美
0-5-5	当院理学療法士の卒後臨床教育におけるOSCEの導入と今後の展望 藤井政雄記念病院 リハビリテーション室	澤 大地

1月11日(日) 13時20分～14時20分 口述⑥卒後教育3

第2会場(419教室)

座長: 内田 賢一(神奈川県立保健福祉大学)
木村 朗(群馬パース大学)

0-6-1	新人職員に対するKYTを用いたリスク管理教育の取り組みとその効果 医療法人和光会山田病院 リハビリテーション部	田中 優斗
0-6-2	経験年数の異なる理学療法士による歩行観察時の着眼点の比較: テキストマイニングによる質的検討 神奈川県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション部	経塚 愛以
0-6-3	回復期の療法士が急変時対応を学ぶ「場」に着目した シミュレーション教育の実践 社会医療法人愛仁会 愛仁会本部 リハビリテーション部門	貞末 仁美
0-6-4	当院におけるMini-CEX導入の実践報告 —教育的有用性と評価者目線からの考察— 医療法人しょうわ会 フェリシア福岡病院 リハビリテーション科	森 俊樹
0-6-5	若手スタッフの学会発表促進のために院内症例報告を大会化した 取り組みと成果 飯塚病院 リハビリテーション部	原 拓也

一般演題プログラム

1月11日(日) 14時30分～15時30分 口述⑦臨床実習教育

会場:第2会場(419教室)

座長:二宮 省悟(東京国際大学)
篠崎 真枝(茨城県立医療大学)

0-7-1	診療参加型臨床実習における指導者評価アンケートと個別面談の有用性に関する検討 東京都済生会中央病院 リハビリテーション技術科	水谷 純子
0-7-2	臨床実習における2:1モデルに対する学生の主観的評価と関連要因の検討 学校法人岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校 教務チーム	須藤 美沙
0-7-3	2対1実習モデルにおける課題解決に向けての取り組み 道南勤医協 函館稜北病院 リハビリテーション部	河本 貴行
0-7-4	当院における理学療法士養成校の臨床実習指導実践評価とその改善点 池上総合病院 リハビリテーション室	中原 亮
0-7-5	臨床的思考過程の育成方法についての検討 ー実習指導者としての理学療法士の視点からー 北里大学 医療衛生学部	小倉 彩

1月11日(日) 15時00分～16時00分 口述⑧その他

会場:第1会場(416教室)

座長:下井 俊典(千葉大学)
平野 正広(SBC 東京医療大学)

0-8-1	脳血管疾患患者の皮膚保護具の使用促進に向けたチェックリストの作成と運用 株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部	高取 祥平
0-8-2	理学療法士の共感的行動の特徴 - ミクストメソッズによる検討 - 静岡医療科学専門学校 理学療法学科	原 真子
0-8-3	新人理学療法士に対する学習支援に向けた実態調査 ー新人理学療法士の実状と指導者の推測のギャップから見てきたことー JA静岡厚生連 中伊豆温泉病院 通所リハビリテーション リハッピー	高木 亮輔
0-8-4	臨床実習における理学療法士学生の行動課題に関する特性要因図分析 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 理学療法学科	松井 剛
0-8-5	臨床実習の満足度に関連する要因の分析 ー理学療法学生の臨床実習後の感想文からー 群馬大学大学院 保健学研究科	加藤 大悟

1月10日(土) 13時50分～14時50分 ポスター①卒後教育1

ポスター会場(3階食堂)

座長: 鈴木 博人(東北文化学園大学)
石井 祐介(ふれあい鎌倉ホスピタル)

P-1-1	理学療法士・作業療法士の職場内の生涯学習促進に向けた事例紹介 ～3年間の活動報告～ 緑成会病院 リハビリテーション部	鹿志村 和央
P-1-2	リハビリテーション専門職への患者経験価値に関する 研修の試みと教育的課題の考察 公益社団法人地域医療振興協会 東京北医療センター リハビリテーション室	六鹿 健児
P-1-3	リハビリテーション専門職におけるワークモチベーションと関連要因の検討 北斗わかば病院 リハビリテーション部	松下 太一
P-1-4	CEPTによる自己評価で課題となったリーダーの役割について ～異なる立場の意見をテキストマイニングを用いて検討～ カレス記念病院 リハビリテーション部 理学療法科	佐々木 隆
P-1-5	埼玉県理学療法士会会員に対する生涯学習アンケート結果 医療法人社団協友会 東大宮訪問看護ステーション 埼玉県理学療法士会 教育局 登録・認定・専門理学療法士管理部	磯部 禎志

1月10日(土) 13時50分～14時50分 ポスター②卒後教育2

ポスター会場(3階食堂)

座長: 一場 友実(杏林大学)
加藤 直樹(大阪大学医学部附属病院)

P-2-1	アンケートを活用した段階的卒後教育の実践報告 洛西シミズ病院 リハビリテーション科	豊島 晶
P-2-2	教育部門主導による体系的な教育体制の構築と実践報告 伊勢原協同病院 リハビリテーション室	鳥山 直未
P-2-3	単線的キャリア像からの脱却と多軸型キャリアラダーへの転換 医療法人甲風会 有馬温泉病院 総合リハビリテーション室	朴 容成
P-2-4	新入職リハビリスタッフの多職種教育としての病棟実習での工夫 多摩丘陵リハビリテーション病院 リハビリテーション技術部教育・育成委員会	永見 直明
P-2-5	新人セラピストへの当院卒後教育として症例報告を活用した実践報告 城山病院 リハビリテーション部	青木 賢宏
P-2-6	多忙な臨床現場においても実践可能な理学療法新人教育制度構築への 取り組み 産業医科大学病院 リハビリテーション部	矢野 雄大

一般演題プログラム

1月10日(土) 13時50分～14時50分 ポスター③卒後教育3

ポスター会場(3階食堂)

座長: 佐々木 圭太(下関看護リハビリテーション学校)
石野 麻衣子(大浜第一病院)

P-3-1	クリニカルラダーを活用した目標支援制度の実践 ～アクションプランへの計画的支援～ 帝塚山リハビリテーション病院 リハビリテーション部	川端 太郎
P-3-2	当院理学療法部門における勉強会係の取り組み ～Off the job trainingの実践と課題～ 初台リハビリテーション病院 回復期支援部	栗田 直樹
P-3-3	ストックネット導入による皮膚保護具使用率向上の取り組み 株式会社麻生 飯塚病院 リハビリテーション部	岸 信作
P-3-4	研究活動支援を目的としたリサーチカンファレンスの取り組みと効果 製鉄記念八幡病院 リハビリテーション部	山内 康太
P-3-5	専門理学療法士の資格取得プロセスの探求 ～TEMによる質的事例研究～ 奈良学園大学大学院 リハビリテーション学研究科 城山病院 リハビリテーション科	森田 隆剛

1月10日(土) 15時00分～16時00分 ポスター④卒後教育4

ポスター会場(3階食堂)

座長: 大和田 宏美(仙台青葉学院大学)
新島 剛(平成リハビリテーション専門学校)

P-4-1	当院におけるウィメンズヘルス領域の教育の現状と臨床展開について 東京北医療センター リハビリテーション室	杉本 結実子
P-4-2	理学療法士キャリア形成のための生涯学習制度の導入と 初年度の実践報告 医療法人甲風会 有馬温泉病院 総合リハビリテーション室	鈴木 あゆみ
P-4-3	若手療法士におけるプリセプター経験と教育指導を通じた 概念的思考力育成の実践報告 竹川病院 リハビリテーション部	小林 和樹
P-4-4	当院における近年卒後教育の実践報告 群馬リハビリテーション病院 理学療法室	横田 航
P-4-5	日勤・夜勤病棟研修の取り組み ～患者の24時間の生活を知る～ 社会医療法人 河北医療財団 河北リハビリテーション病院 リハビリテーション部	波多野 陽子

一般演題プログラム

1月10日 (土) 15時00分～16時00分 ポスター⑤卒後教育5

ポスター会場(3階食堂)

座長: 松坂 大毅 (東京慈恵医科大学附属第三病院)

貞末 仁美 (社会医療法人愛仁会)

- | | | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| P-5-1 | 当院理学療法部門における新人・中堅教育の実践と臨床能力評価尺度を用いた経過報告
和泉市立総合医療センター リハビリテーション科 | 浦田 宗嗣 |
| P-5-2 | 人材育成のためのフォローアップ研修の取り組み
～ワーク・エンゲージメントに及ぼす影響～
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院 リハビリテーション | 寺山 雅人部 |
| P-5-3 | 埼玉県理学療法士会会員に対する生涯学習制度アンケート結果
～前期・後期履修に対する意識について～
医療法人久幸会 川口きゅうぼろリハビリテーション病院
埼玉県理学療法士会 教育局 登録・認定・専門理学療法士管理部 | 篠原 海優 |
| P-5-4 | 当院理学療法士における臨床思考過程の言語化・定着状況と課題の検討
医療法人全心会 伊勢ひかり病院 リハビリテーション科 | 岩崎 武史 |
| P-5-5 | 2・3年次の教育・支援体制の整備がセラピストの離職率に与えた影響
一般財団法人 多摩緑成会 緑成会病院 リハビリテーション部 | 川島 紀 |

1月10日 (土) 15時00分～16時00分 ポスター⑥その他1

ポスター会場(3階食堂)

座長: 山野 薫 (大阪人間科学大学)

後藤 亮平 (筑波大学)

- | | | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| P-6-1 | 新人教育のチーム制度導入の試み
山田病院 リハビリテーション部 | 海光 拓磨 |
| P-6-2 | 当院リハビリテーション技術科における教育体制構築と課題について
～経験年数と部門間の解離に対する対応～
医療法人社団志高会 三菱京都病院 リハビリテーション技術科 | 藤田 祐平 |
| P-6-3 | 法人リハビリテーション部の管理マネジメント課題と支援策
～職位別の実態調査～
健和会大手町病院 リハビリテーション部 | 平川 陽 |
| P-6-4 | 入学時の基礎力リサーチは前期学業成績と関連するか
専門学校中央医療健康大学校 理学療法学科 | 影山 哲也 |
| P-6-5 | 入学時における理学療法学生のキャリアレディネスに関連する要因について
上尾中央医療専門学校 理学療法学科 | 西郡 亨 |

一般演題プログラム

1月11日(日) 13時20分～14時20分 ポスター⑦学校教育1

ポスター会場(3階食堂)

座長: 宇都宮 雅博(東都大学)
小林 聖美(つくば国際大学)

P-7-1 職能団体による学生へのキャリア教育の取り組み

一般社団法人島根県理学療法士会 学術局 卒前教育部
総合病院 松江生協病院 リハビリテーション科

堀内 秀太郎

P-7-2 「メディカルスタッフのための解剖セミナー」による教育効果の検証

帝京平成大学 健康メディカル学部 理学療法学科
札幌医科大学 医学部 解剖学講座 機能構造学分野

宮本 浩樹

P-7-3 理学療法学科1年次における前期終了時の基礎学力および自己認識が学業成績に与える要因

専門学校中央医療健康大学校 理学療法学科

杉山 昌幸

P-7-4 ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーの到達度とGPAの相関について

多摩リハビリテーション学院専門学校 理学療法学科

小嶋 陽香

**P-7-5 発達障がい児への理解を深めるグループワーク型授業の教育効果
—小児理学療法学における実践報告—**

山形県立保健医療大学 保健医療学部・理学療法学科

渡部 潤一

**P-7-6 学力層における教育的介入の効果の違い
～知識構成型ジグソー法と個別学習の比較検討～**

阪奈中央リハビリテーション専門学校 理学療法学科

梅田 達成

1月11日(日) 13時20分～14時20分 ポスター⑧臨床実習教育1

ポスター会場(3階食堂)

座長: 加藤 研太郎(大阪医療大学)
平野 明日香(藤田医科大学病院)

**P-8-1 当院の臨床実習指導における取り組みについて
～病床機能別にローテーションを取り入れて～**

医療法人財団聖十字会 聖ヶ塔病院 リハビリテーション部

竹田 翔一

P-8-2 当院の理学療法臨床実習におけるネット・プロモーター・スコア(NPS®)を用いた実習に対する満足度調査

社会医療法人社団 カレスサッポロ カレス記念病院 理学療法科

中條 勇人

**P-8-3 理学療法士養成校における臨床推論教育に資する
ユーザーインターフェースの開発と試用**

杏林大学 保健学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻

跡見 友章

**P-8-4 理学療法専攻学生における職業アイデンティティの経時的変化の特徴
:短期大学3年次に実施される総合臨床実習前後の時期に着目した学年間比較**

仙台青葉学院短期大学 リハビリテーション学科 理学療法専攻

荒牧 隼浩

**P-8-5 総合臨床実習における協同参加・実施項目の経験数は
実習後OSCEの得点を向上させるのか**

関西医科大学 理学療法学科

柳本 展孝

P-8-6 診療参加型臨床実習における理学療法学生の『実施』到達内容の量的分析

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

玉越 敬悟

一般演題プログラム

1月11日(日) 13時20分～14時20分 ポスター⑨臨床実習教育2

ポスター会場(3階食堂)

座長: 豊田 輝(帝京科学大学)
鈴木 由佳理(藤田医科大学)

P-9-1	長期のストレッチング習慣が臨床実習中の気分やストレスに及ぼす影響 小牧市民病院 リハビリテーション科	諫本 ひまり
P-9-2	ストレスコーピングと自己効力感の関係;臨床実習後の昼間部学生と夜間部学生におけるアンケート調査 専門学校東京医療学院 理学療法学科	木倉 将成
P-9-3	2対1実習と1対1実習を並行させた2名の臨床実習生指導 医療法人博仁会 志村大宮病院 リハビリテーション事業部	上倉 洋人
P-9-4	患者満足度に着目した実習サポート体制の有用性の検討 帝塚山リハビリテーション病院 リハビリテーション部	上月 渉
P-9-5	実習体制拡大に伴う指導者の業務負担に関する実態調査 株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション部	大西 悠太郎

1月11日(日) 14時30分～15時30分 ポスター⑩臨床実習教育3

ポスター会場(3階食堂)

座長: 渡邊 観世子(国際医療福祉大学)
田畑 稔(東京保健医療専門職大学)

P-10-1	評価実習における実習生の内的要因からみた学内での準備教育 専門学校 星城大学リハビリテーション学院 理学療法学科	中川 仁
P-10-2	訪問リハビリテーションにおけるオンライン見学の教育的有用性の予備的検討 — ウェアラブルカメラを活用した遠隔教育の試み— 新潟リハビリテーション大学 理学療法専攻	木村 和樹
P-10-3	学生を対象とした足関節可動域測定の検者内・検者間信頼性についての検討 愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科	松村 仁実
P-10-4	シミュレーターを用いて医療系学生の患者対応を評価する —医療職共通OSCEは必要?— 金沢医科大学 医学部 医学教育学	西川 正志
P-10-5	理学療法学生における長下肢装具を用いた後方介助歩行技術の学習経験の実態 — 探索的調査— 東北文化学園大学 医療福祉学部 東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科	鈴木 博人

一般演題プログラム

1月11日(日) 14時30分～15時30分 ポスター⑪学校教育2

ポスター会場(3階食堂)

座長: 江戸 優裕 (千葉県立保健医療大学)

門馬 博 (杏林大学)

P-11-1	～第2報～ 理学療法士養成校における在学中の理学療法士への意欲の変化 社会医学技術学院 理学療法学科	中村 壮太
P-11-2	理学療法学科1年次前期の取り組みが基礎学力と自己認識に影響を与えるか 専門学校中央医療健康大学校 理学療法学科	高橋 雅亮
P-11-3	知識構成型ジグソー法に対する学生の意向 阪奈中央リハビリテーション専門学校 理学療法学科	森谷 伸樹
P-11-4	医療者教育における新たな教養教育に関する研究 ～高大接続としての「情報学」の可能性 北海道千歳リハビリテーション大学 健康科学部	佐藤 公博
P-11-5	療法士養成課程における社会人基礎力向上要因の考察 金城大学大学院 総合リハビリテーション学研究科 総合リハビリテーション学専攻	南野 華

1月11日(日) 14時30分～15時30分 ポスター⑫その他2

ポスター会場(3階食堂)

座長: 國澤 洋介 (埼玉医科大学)

高尾 敏文 (つくば国際大学)

P-12-1	学生に対する学習支援(ゼミ活動)の取り組みについて 四国医療専門学校 理学療法学科	逢坂 幸佳
P-12-2	当学院卒業生における就職先の施設選択に重視する条件の年度別比較 -価値観の変化に着目して- 沖縄リハビリテーション福祉学院 理学療法学科 琉球大学大学院 医学研究科	末吉 勇樹
P-12-3	バイク事故にて手関節の機能低下を呈した患者 ～靴型荷重測定計を用い患者教育にて上肢荷重練習が有用であった1例～ 社会医療法人創和会 重井医学研究所附属病院 リハビリテーション部	石田 祥児
P-12-4	目標設定方法の違いがパフォーマンスに及ぼす影響について 神奈川県総合リハビリテーション事業団 神奈川リハビリテーション病院 理学療法科	三浦 るん
P-12-5	理学療法士の仕事の信念はキャリアでどう変わるか? -教育支援の方向性を探る- 奈良学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学科	池田 耕二
P-12-6	入職直後ジョブローテーションの課題抽出と改善効果 ～テキストマイニングを活用した継続的改善の実践報告～ 医療法人大誠会 統括リハビリ部	藤生 大我